



平笠裸参り（1月8日、西根地区平笠）

先人から受け継ぐ(7) 平笠裸参り

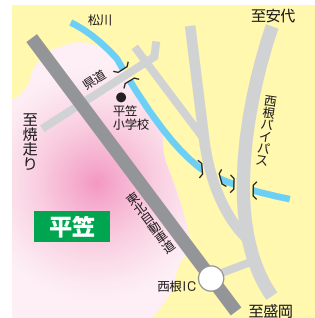
裸参りは、寒中に難行苦行し、神仏の加護を得、五穀豊穡、無病息災、家内安全などを祈願する行事で、古くから各地で行われている。

平笠では、享保年間（1710年代）に岩手山が噴火し、「焼走り」をつくったが、これを恐れた村人たちが神の怒りを鎮め、安穏を祈願したのが始まりと言い伝えら

れている。その後、戦時中に銃後を守った主婦たちが、夫や息子の武運を祈って行ったのが「平笠女裸参り」の始まりであり、女性の荒行として全国的にも例のない珍しいものである（参考：西根町史）。

○保存会代表 伊藤信也さん

○市無形民俗文化財の指定 昭和56年3月25日（旧西根町指定）



あ
と
が
き



かずひこ 伊藤一彦

昨年は大雪で幕を開け、大震災、原発事故などで慌ただしい年であり、議会の中でも未曾有の想定外の被害から、危機管理に対する案件が数多く議論された年でもありました。本年は雪も少なく穏やかな新年を迎えたことと思います。

さて、議会広報誌も市民に分かりやすく、読んでもらえる誌面を求めて先進地を訪問するなど、いろいろと手をいれて努力してきました。今後も議員各自の責任を強く求め、政策提案する議会を公開していきます。今回は議員各位の賛否案件を掲載してあります。さらには、市民参加を求め市民のページを掲載することで進化したと思います。そのために、この「あとかき」は今回で最終とします。最後に、震災地の復旧、復興が早期に完了することを祈り、終わりとします。

議会広報特別委員会

- 委員長 伊藤一彦
- 副委員長 渡邊 正
- 委員 三浦 侃
- 委員 大森力男
- 委員 高橋悦郎
- 委員 立花安文